

「住み続けたいまちづくり」を創ります！



町政に新たな風を

多くの皆様から温かいご支援をいただき、町政を担うことになりました。お寄せいただいた信頼と期待にお応えし、「住み続けたいまち、ごうど」を創るべく、強い使命感を持って全身全霊で町政運営に取り組んでいきたいと思えます。

今回の選挙活動を通じて、町民の皆様から様々なご意見、ご提言をいただいたことは、貴重な経験となりました。町民の皆様に町政の新たな風を感じてもらえるように取り組んでまいります。

物価高騰に対応するための町独自の生活支援策

現在の急激な物価高騰に対応するため、国の交付金を活用して、「学校給食費の6か月間無償」と「上水道基本料金の6か月間免除」をただちに実行します。

未来を拓くために

神戸町にとって、人口減少対策は最優先で取り組まなければならない課題であると考えています。抑制策のひとつに「子育て支援の充実」が考えられます。切れ目のない子育て支援を進め

るために、新たに、出産を控えたご家庭への「出産準備金」を創設して、出産にかかる費用を支援する事業に取り組みたいと考えています。

また、既存の施設を活用して、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる施設「(仮称)ごうど児童館」の開設に向け、担当部署と協議を始めたと思います。他市町にある、子ども向けの工作やイベントといった児童館としての機能に加えて、地域の皆様の交流の場所としても運用ができればと考えています。

さらに、未来を担う子どもたちの教育環境の充実として、避難所にもなっている小中学校体育館の空調設備の整備について、国や県の補助金、他市町の動向を見極めながら順次進めるなど、学校施設及び設備の充実、改修も視野に入れていきたいと考えています。また、教育の質を高め、学びの実効性を向上させるために、学校ICT環境を一層充実させていきます。

一方、本町から転出する主な要因として「職業上」の理由が最も多く、近年は、生産年齢人口の減少が進行しています。このような中、令和元年の東海環状自動車道大垣西ICから大野神

みんなが幸せ! 笑顔あふれるまちに!



戸ICの開通は、企業誘致や観光振興の面で大きな期待を寄せています。町としても、令和8年度の全線開通予定を見据え、西座倉地区において土地区画整理事業が開始され企業誘致に向けて動き出したところです。土地区画整理組合と協力しながら、名神高速道路等とつなぐ、この「動脈」を活かした企業誘致の推進に努めていきます。

暮らしと命を守るために

安全・安心なまちづくりに向け、防犯灯の計画的な管理に加え、町民を守る防犯カメラを街角に設置することで、犯罪の未然防止や安全確保につなげ、防犯対策を強化したいと考えています。

また、国や県の補助金を有効活用しながら、幹線道路の整備や生活道路の整備と維持管理を進めるとともに、特に児童生徒が利用する通学路の安全確保に十分配慮して整備してまいります。

このほか、公共下水道事業の推進に取り組むほか、町の重要な公共交通機関である養老鉄道 of 存続についても、沿線市町と協調して支援してまいります。

心に寄り添うために

地域住民をはじめ、地域の多様な主体が「我が事」として地域活動に参画し、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指していきます。この実現に向けて、様々な地域課題を把握し、解決していくため、専門職によ

る相談支援体制の整備を進めるとともに、多職種連携や地域住民等と協働する地域連携による地域包括ケアシステム体制の整備をさらに進めていきます。

人生100年時代と言われる中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、医療、介護、予防、生活支援など切れ目のない支援や認知症施策の拡充を図ります。

高齢者の外出支援のための「ばらタク」については、町内の利用に加え、事業の拡充も検討していきたいと考えています。

まちの輝きを放つために

神戸町は、町内外から多数の観光客が訪れる「ばら公園いこいの広場」、全国に誇る勇壮で豪快な「神戸山王まつり」など歴史的で文化的な観光資源が豊富にあり、こうした魅力をさらに磨き上げ、SNSなどを通じた情報発信の強化に取り組むことで、交流人口の拡大、賑わいの創出を図ります。

また、商工会やJAとの連携を強化し、新しい特産品や農産物の開発支援を進めたいと考えています。

持続可能な社会づくりを進めていくにあたり、町全体で環境にやさしい社会を構築していくことが求められます。そこで環境問題への取り組みとして、2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」について、今後表明できるように準備を進めます。

また、リサイクル活動の拠点施設である「エコプラザごうど」については、

施設が手狭で老朽化が進んでいることから、移転改築について検討を進めていきたいと考えています。

信頼を得るために

魅力的で持続可能なまちづくりを進めるためには、これまでどおり、健全財政を堅持していかなくてはなりません。そこで、町税等歳入の安定確保に努めるとともに、稼ぐ町政の取り組みとして、ふるさと納税を推進することで、地域経済の発展と財源確保の両面に努めてまいります。

新しい時代の流れを的確に地域の力として取り入れていくため、行政のデジタル化(DX)について積極的に取り組んでいきたいと考えています。電子申請やキャッシュレス決済の充実など、「町民の利便性の向上」と「行政の業務効率化」を同時に実現し、様々な分野でデジタル化を進めてまいります。

町民の皆様の生活と安全を守るため、刻々と変わる社会情勢をしっかりと見極めながら、これまでの施策をさらに効果的に推進しつつも、暮らしやすさを実感できる新たな施策にも積極的に取り組んでまいります。

町民の皆様の声に、しっかりと耳を傾け、心に寄り添いながら、「住み続けたいまち ごと」を創るべく、町政運営を進めていきます。皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。